

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	HIYOKO STUDY 亶理教室		
○保護者評価実施期間	2025年 5 月 1 日 ~ 2025年 5 月 31 日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25 (回答者数)	13
○従業員評価実施期間	2025年 5 月 1 日 ~ 2025年 5 月 31 日		
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 6 月 1 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	リタリコ発達ナビの教材を使用した、ソーシャルスキルトレーニングや個別課題への取り組み。	個別の課題や活動の中で、リタリコ発達ナビの教材を多く使用している。	リタリコ発達ナビの教材を職員が熟知し、個々に合わせた適切な教材を選択できるようにしていきたい。
2	施設環境 (木のぬくもりが感じられる、のびのびと楽しく成長できる施設)	広々とした施設環境を活かし、支援プログラムに運動療育も積極的に取り入れている。	広々とした施設を、支援プログラムで最大限に活用できるように、日々の整理整頓を徹底し、心地よく過ごせる環境づくりに努めていく。
3	個々の成長発達に合わせたプログラム内容	活動プログラムが固定化しない様に工夫している。	他事業所で行っている活動プログラムも参考にしながら、新しい取り組みにも挑戦していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族に対しての研修やペアトレーニングが上手く行われていない。	職員の勉強不足。	勉強会を重ね、職員の能力向上に努める。
2	保護者同士や他施設との交流の場が少ない。	内部の支援をしっかりと行う事に意識が向いてしまい、イベント等を企画する頻度が少なくなってしまった。	今後は、親子イベントの回数を増やしたり、保護者会や他施設との交流の場を増やしていけるようにしていきたい。
3	お便りやSNSなどを通して、活動の様子の定期的な発信。	担当職員の異動などによる、引継ぎ不足。	担当職員をしっかりと配置して、定期的に活動の様子を発信していく。